

凜とした空気を感じて
—空手道を体験して—

「オス！よろしくお願ひします！」

6月17日（金）板橋第一小学校体育館で、4年生18名の児童が、総合的な学習「和の文化を学ぼう」と題して、「空手道」体験教室に参加しました。空手を通して日本文化の魅力にふれ、空手文化について、さらに調べて深めようとするものです。

篠田剛先生の教えは、まず心構えから始まりました。「自分は幼い頃大変な恥ずかしがり屋であったが、空手をやってから自信がついてきた。」という始めのお話は、子ども達の緊張をほぐします。落ちてくる板の一瞬をとらえて素早く突き割る技の披露では、失敗を潔く「恥ずかしい」と認める姿に、篠田先生の謙虚さを見る思いがしました。

構え、突き、前蹴り、などの基本技を繰り返し、「いいぞ！」と励まされると、「オス！」という子ども達のかげ声はさらに大きく響くようになり、顔が嬉しそうになごみます。最後に一人一人が「板突き」を成功させ、ほっとした空気が流れました。

始めから最後まで凜とした空気の中で、一人一人の顔がしまりつつも、快い達成感をもっている子ども達。

「できた仲間への拍手」「あきらめずに挑戦する心」「いつも全力で」「恥ずかしがらずに大きな声でオス！を」…

短時間でしたが、空手を通して強く、やさしい心を育てる篠田先生の教えが伝わってきた体験教室でした。

板橋第一小学校 4年担任
海野初枝